

94th Regular Concert

明治大学ハーモニカソサエティー

御 挨拶



部長
北島 忠 男

今年は梅雨の頃から暑さが厳しく、特に夏は雨の少ない酷暑の毎日となりました。そのせいか、いつになく足ばやに秋の深まりが進んでいるようです。このような季節のなか、我々明治大学ハーモニカ・ソサエティーは秋の定期演奏会を開催することになりました。6月に開かれた春の定期演奏会はソサエティーの創立60周年を記念した演奏会であり、その時の演奏を中心に編集された「青春の旅路」と題するレコードも出来上りました。このように春の演奏会は、ソサエティーの歴史に一つの区切りをつけたものであり、それゆえにこの度の秋の演奏会はこうした成果の上になった、次の飛躍への第一歩であると言えます。春の演奏会以降も、ソサエティーの部員諸君は懸命に練習に励んでいますので、今宵は、きっと良い音楽を楽しく聴かせてくれるものと思っています。最後は、明治大学ハーモニカ・ソサエティーが、より大きく成長して行けますよう、今迄以上に暖かい皆様のお支援を心からお願ひ申し上げます。(北島忠男)



OB会会長

明治大学ハーモニカ・ソサエティーは大正8年に結成され、本春には創立満60周年記念演奏会が読売ホールにて盛大に行なわれました。当日予期しなかった喜ばしい事には、復音ハーモニカ界第一の佐藤秀郎氏、往年の名手松原千加士氏、及びクロマチ、ク単音ハーモニカの窪田広吉氏、復音ハーモニカの松村博氏等々、当代一流の錚々たる奏者や其の他在京の多数の名手が来賓されまして、当部としては実にハーモニカ冥利に尽きるものであります。今秋の第94回定期演奏会も更に飛躍して立派な演奏をされん事を心より念願して止まない次第であります。(布施莊兵衛)

本日の演奏会が、皆様のもつ伝統的な音楽の歡びに充ちた立派な音楽会となる様心からお祈りいたしましてお祝ひの言葉とさせていただきます。(文責・吉沢真人)

早・立・中大学ハーモニカ・ソサエティー

貴クラブの今後のますますの御発展と本日の演奏会の御成功を御祈念いたしまして、お祝ひの言葉とさせていただきます。

明治大学マンドリン倶楽部

秋も深まり、冬の年配さえ感じられる今日この頃、本日は第94回定期演奏会に御来場下さいまして、誠にありがとうございます。さて今回は、私達にはちょっとり恥かしくもあり、又大いに關心のある“愛”をテーマにお送りします。1部にボサノバ、ジャズを中心としてメランコリックに、また2部には4年間クラブに打ち込んできた4年生の最後のステージを中心に繰り広げます。そして3部ではディスコサウンドも織りませ、ゲストのメローウインズにもお手伝いを願ひ、皆様に幅広い音楽を楽しんでいただこうと思っております。未熟な点も多いかと存じますが、部員一同精一杯演奏致しますので、終演までごゆっくりお楽しみ下さい。最後に、この演奏会のために御協力いただきました方々に心からお礼申し上げます。

部 員 一 同

東京  **学生割引**

コンタクトレンズ

◆高田馬場 209-4646 ◆新 宿 348-4646
◆池 袋 985-4646 ◆渋谷 409-0005

